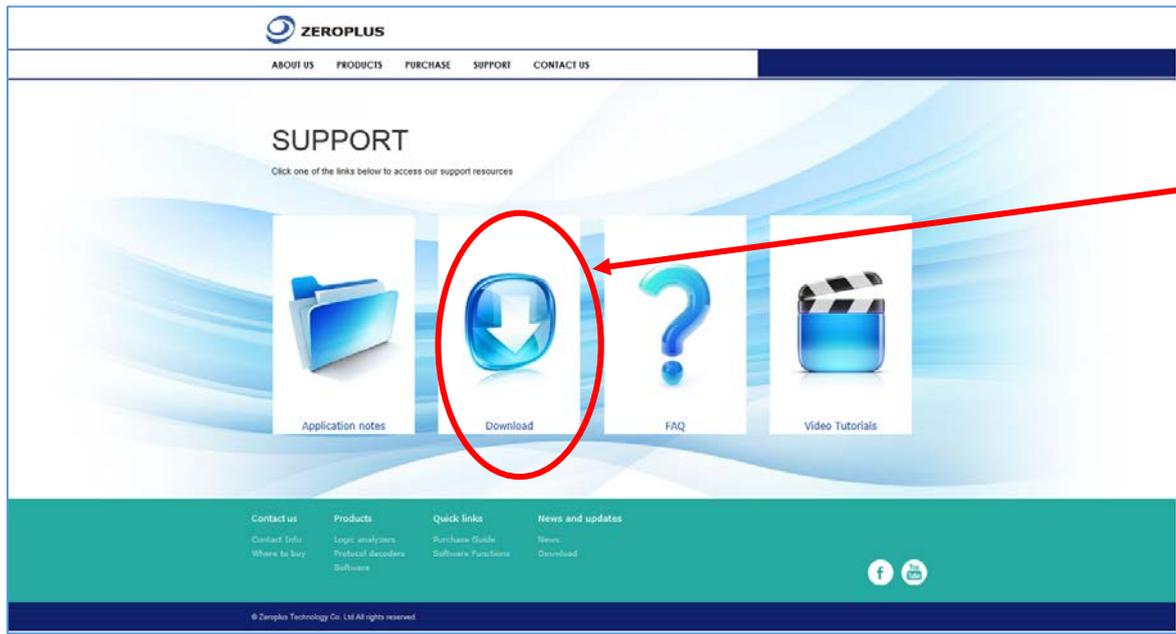
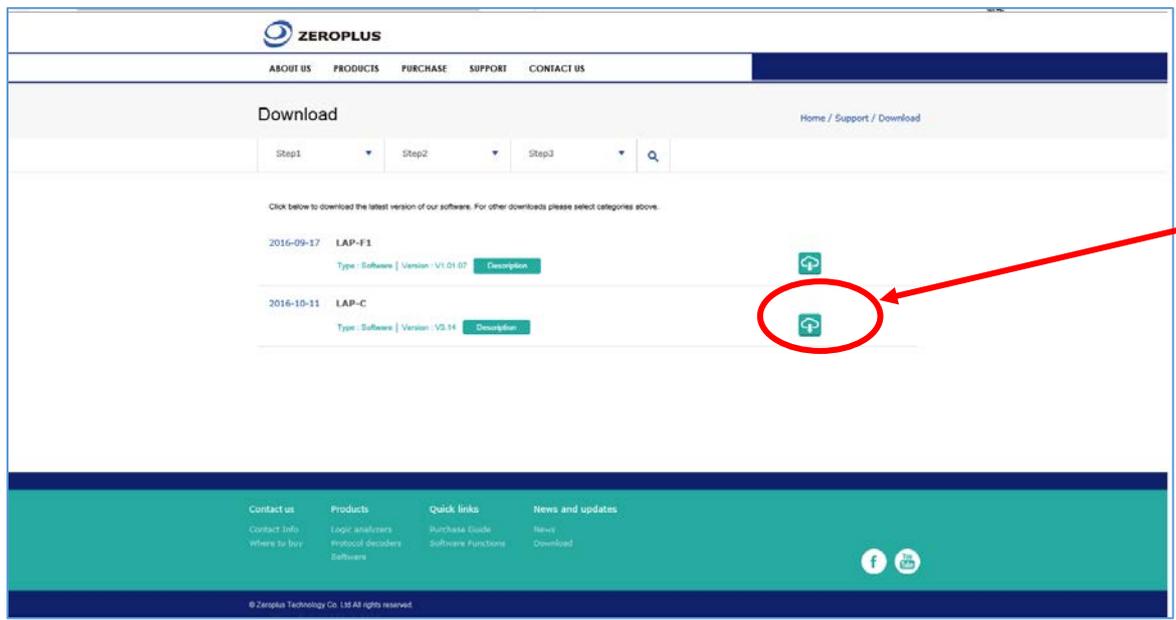


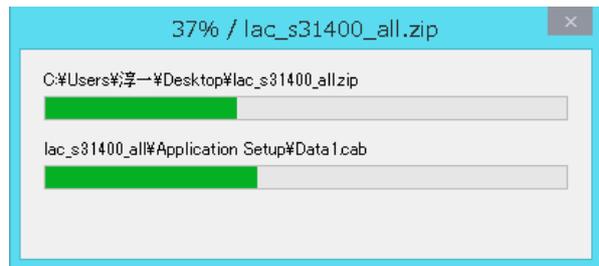
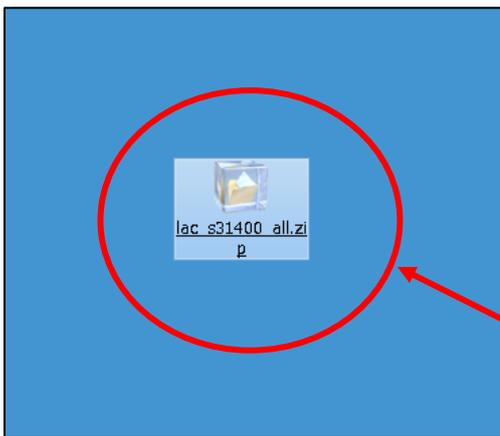
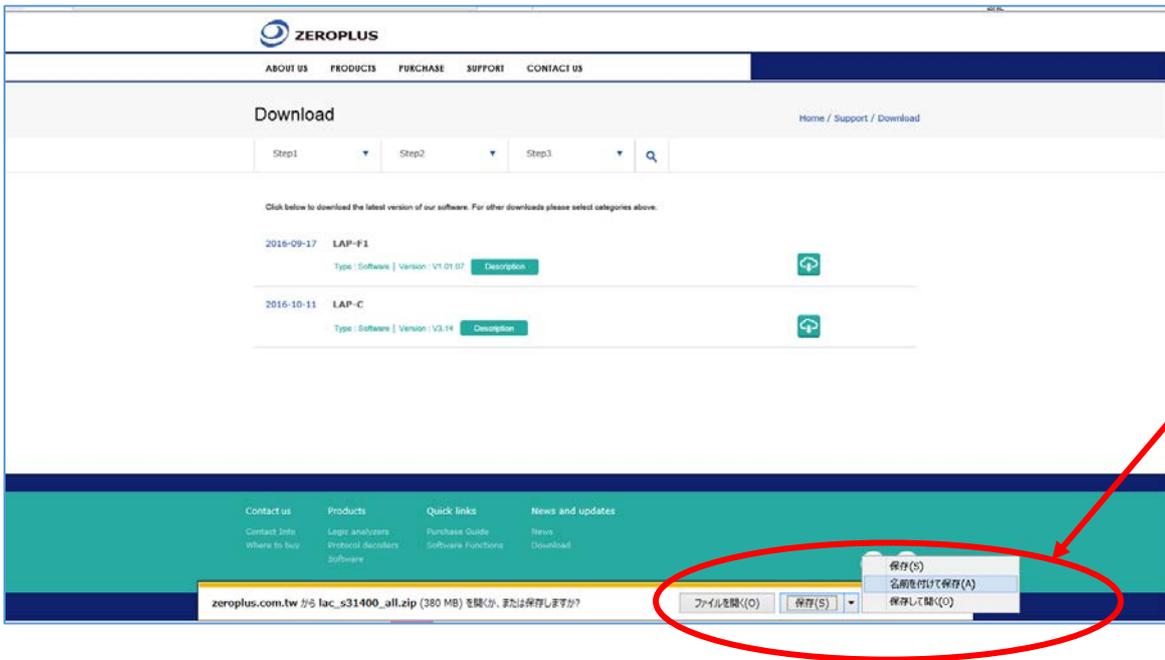
サポートページへ



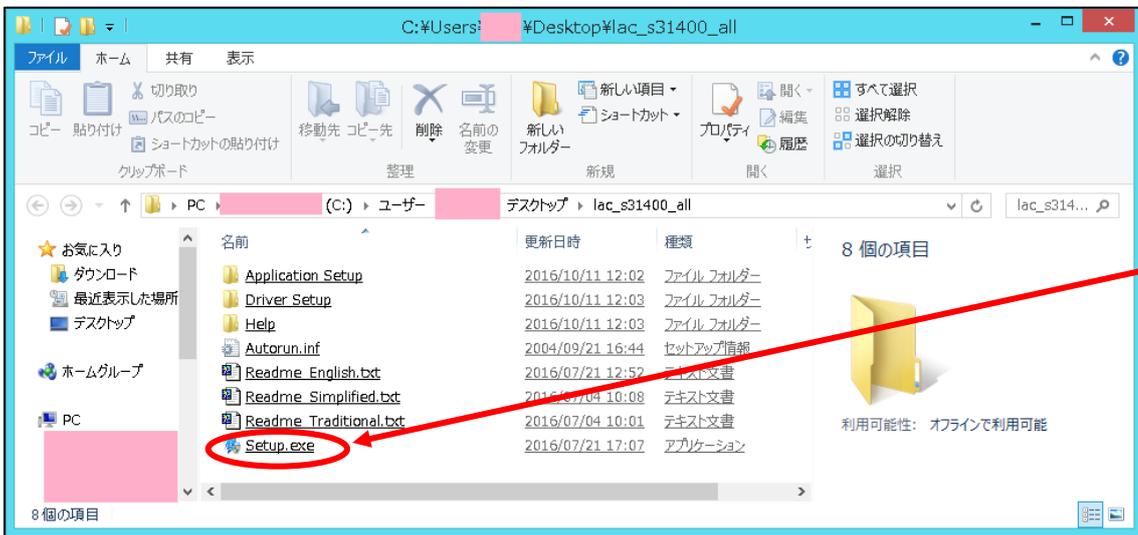
ダウンロードページへ



LAP-Cをダウンロード

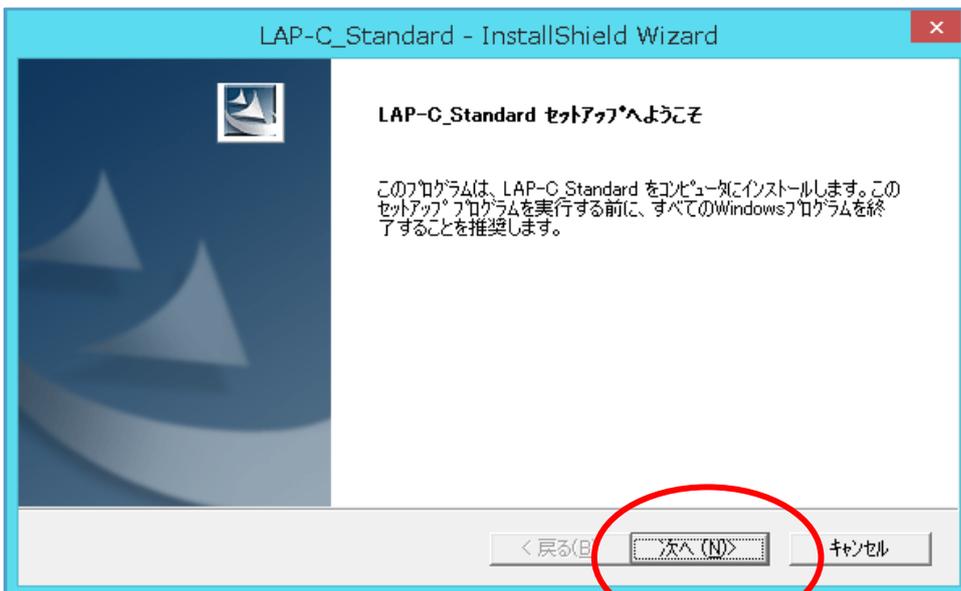
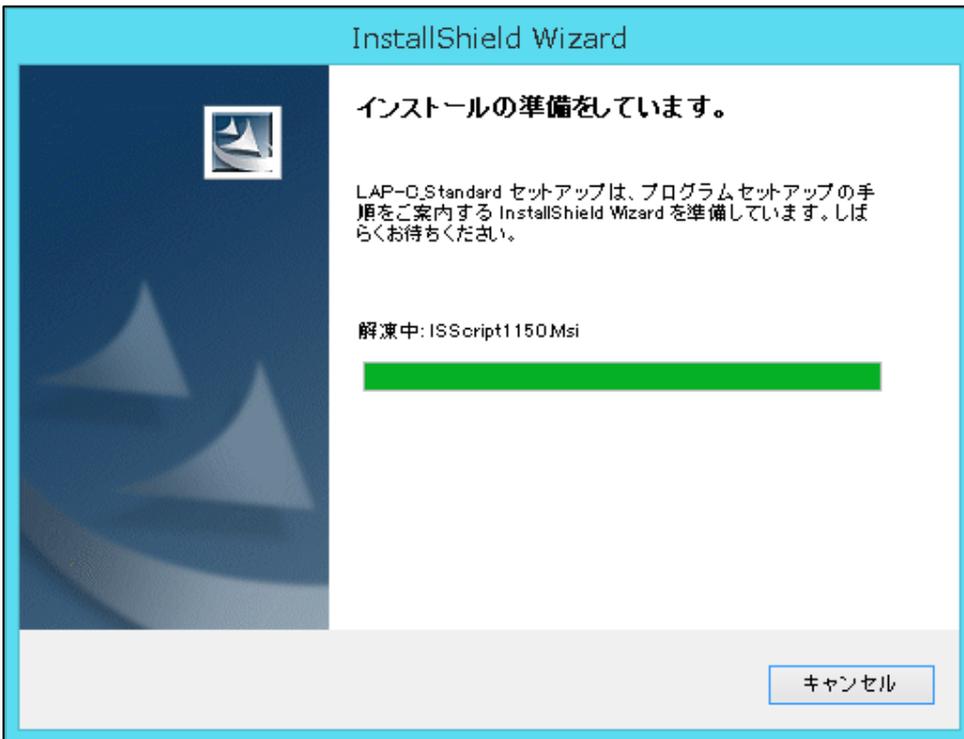


クリックして解凍



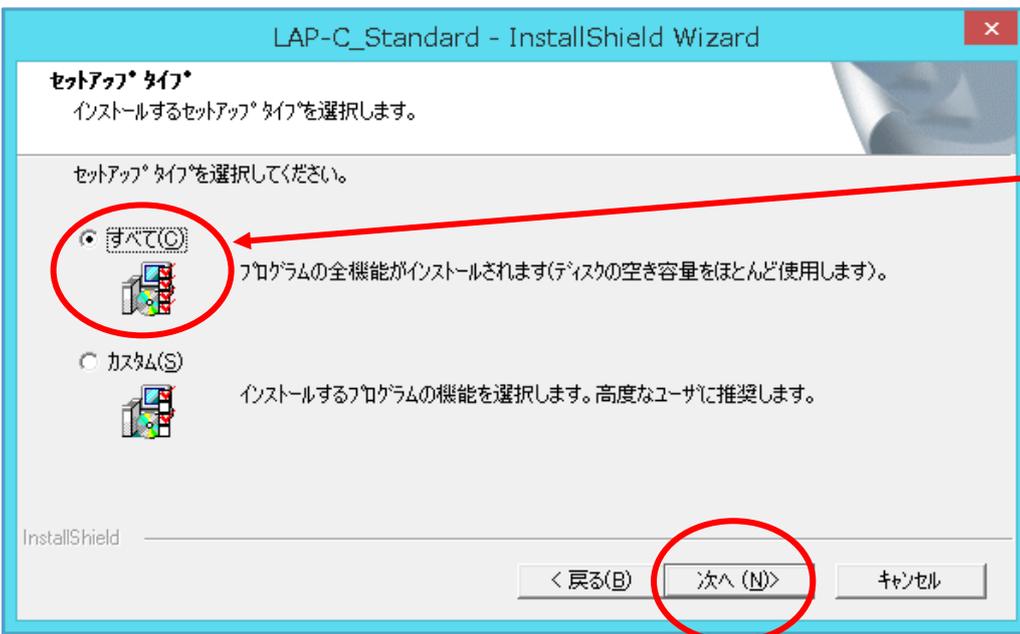
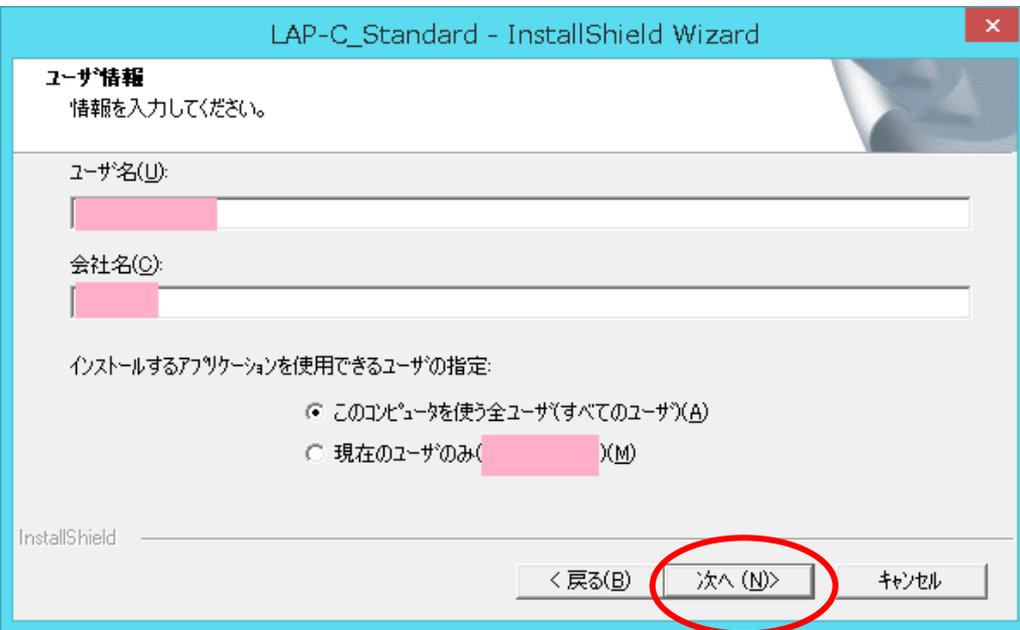


アプリケーション・
セットアップを起動

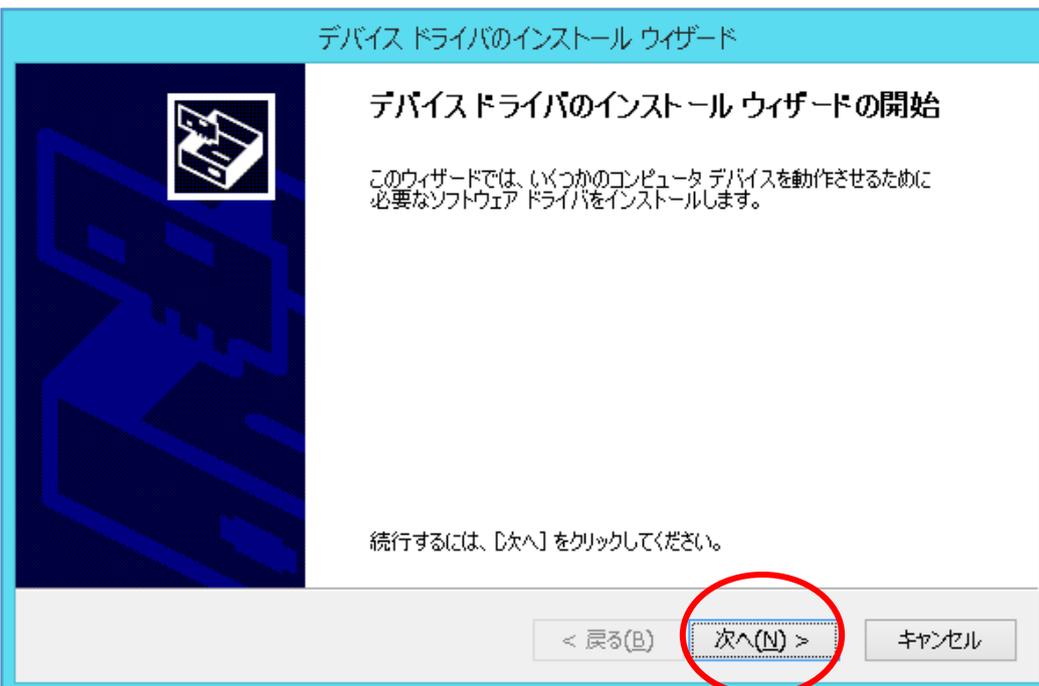
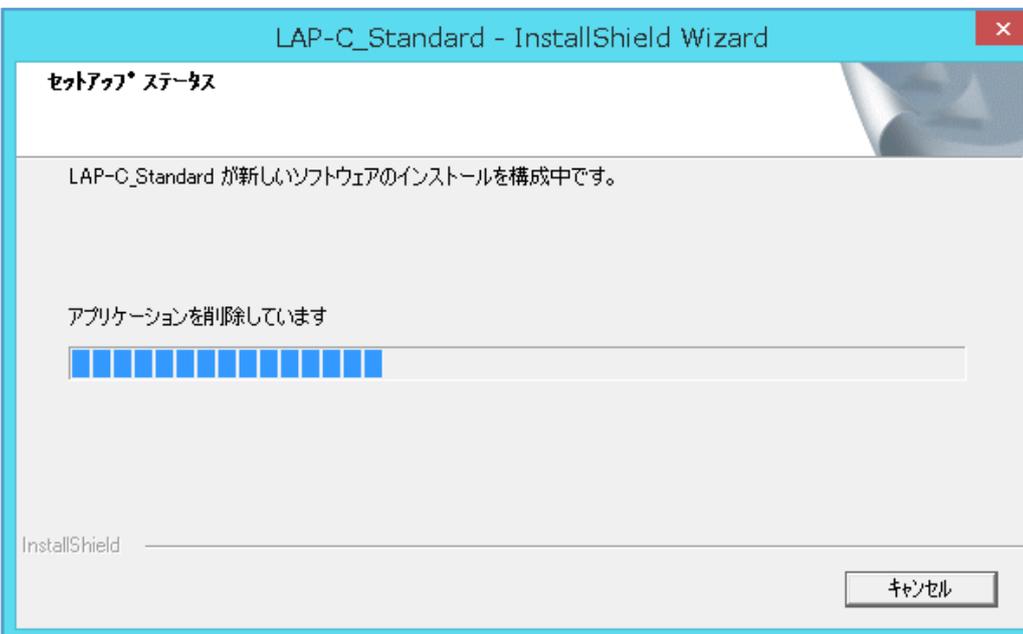


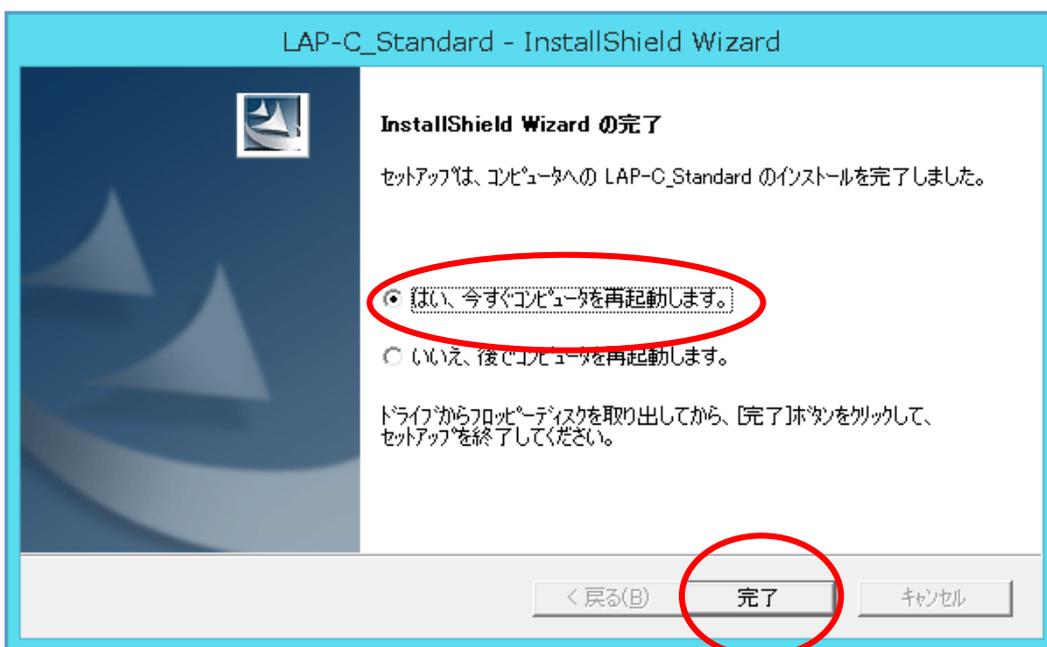


必ずチェックを入れる



チェックが入っているか確認

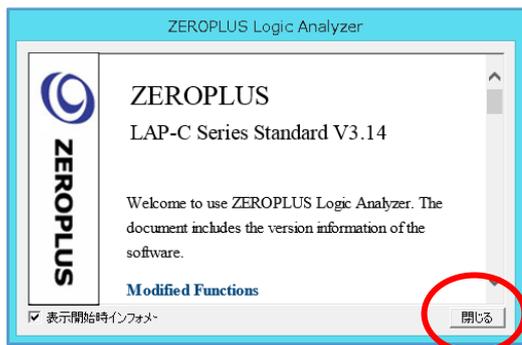




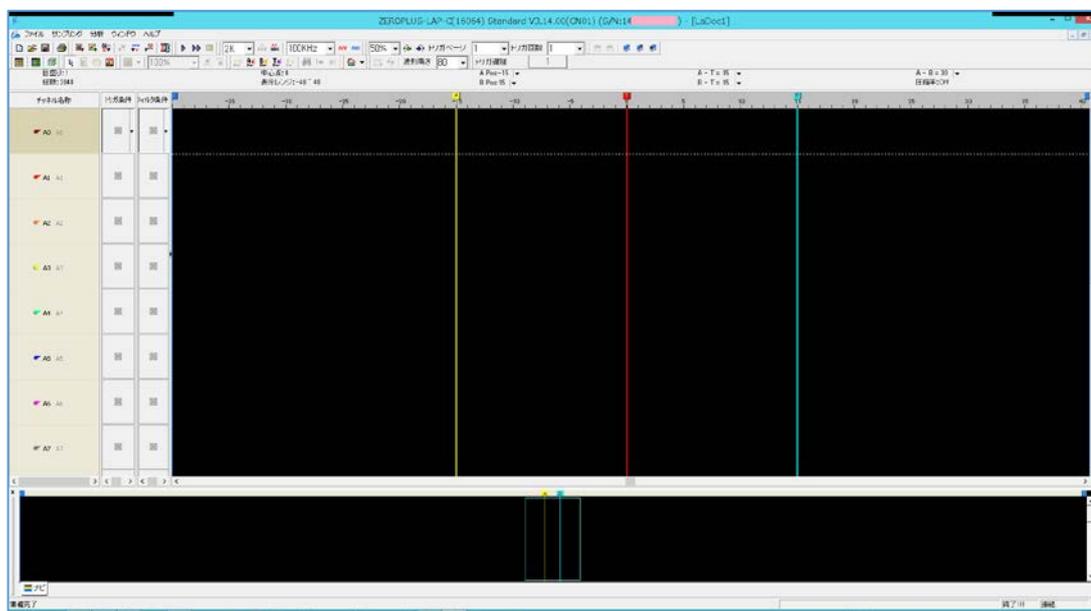
再起動すると下のようなアイコンがデスクトップに作成されています。



アイコンをクリックするとソフトが起動します。

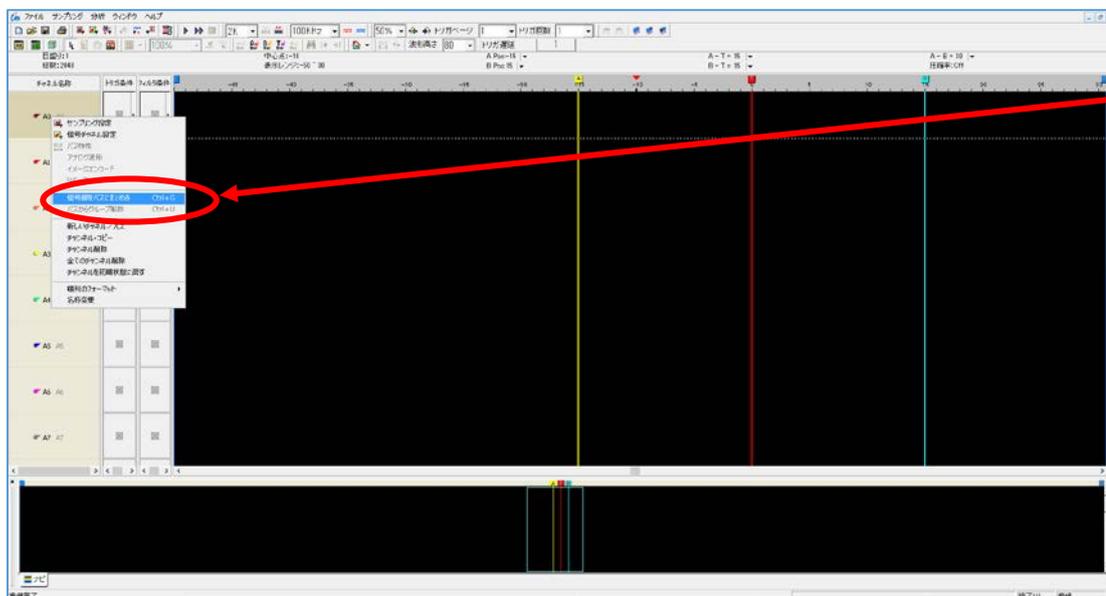


ソフトの画面です。

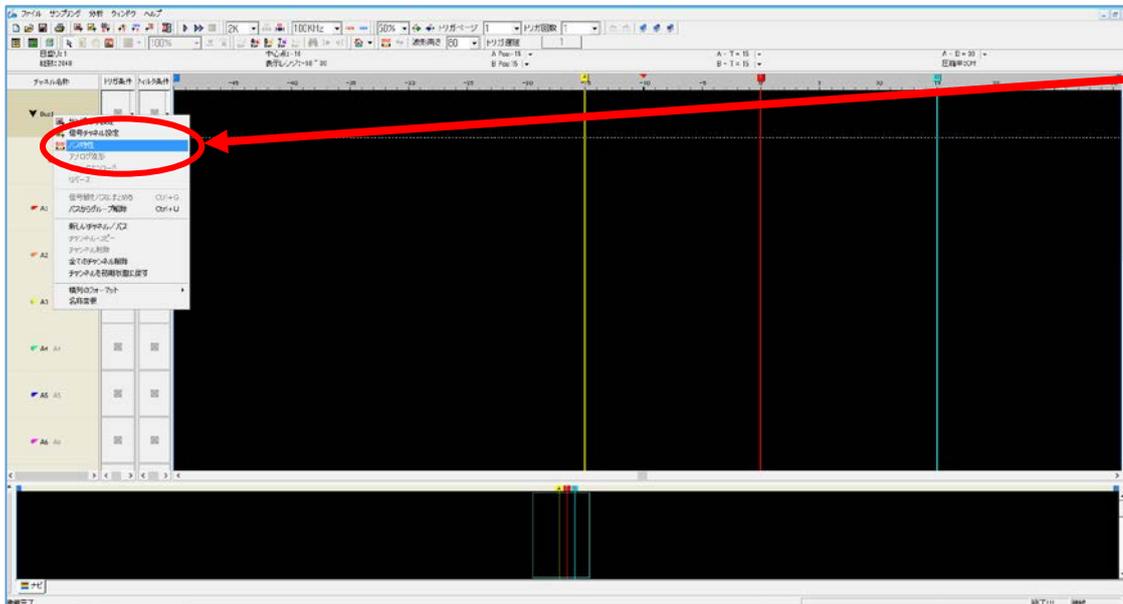


■ プロトコル・デコーダ (プロトコル・アナライザ) の設定方法 ■

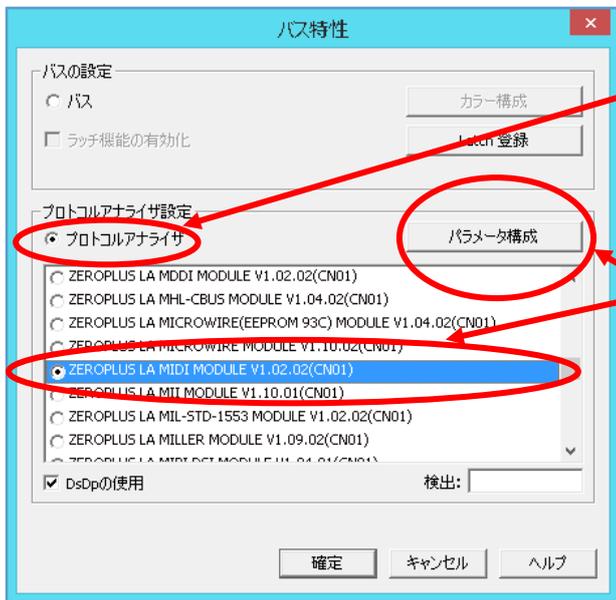
ソフトウェアバージョン3.14から、多くのプロトコルが無料で使用可能になっています。



信号線を右クリックして「信号線をバスにまとめる」を選択します。解析する信号によってはシフトキーを使い複数の信号線を選択する必要があります。この例では1線のみで使用できるMIDI信号を設定します。



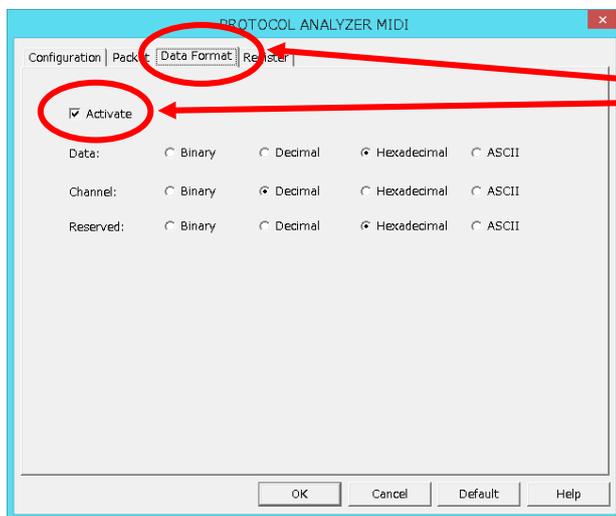
バス名または信号名を右クリックして「バス特性」をクリックします。



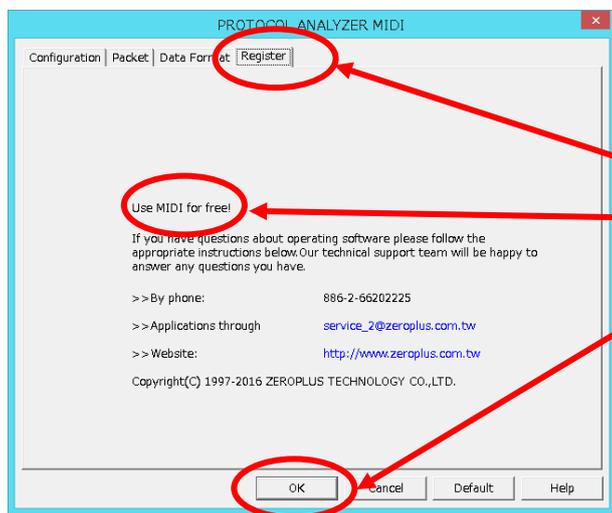
1、プロトコルアナライザにチェックを入れると下のウィンドウのプロトコルを選択可能になります。

2、今回はMIDIモジュールを選択します。

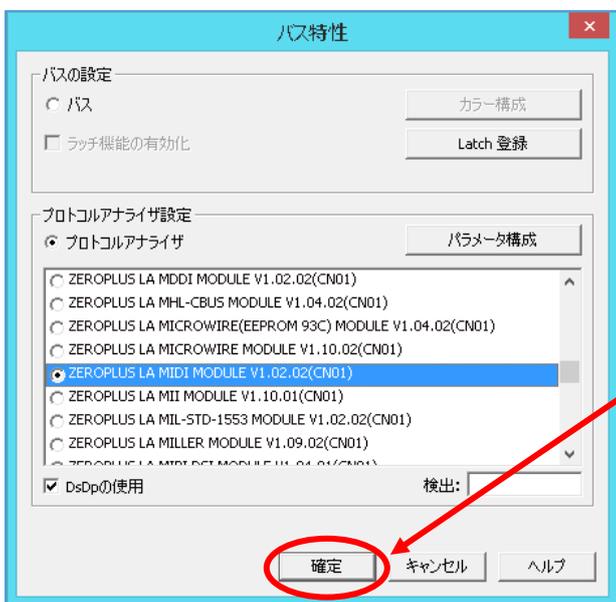
3、「パラメータ構成」をクリックします。



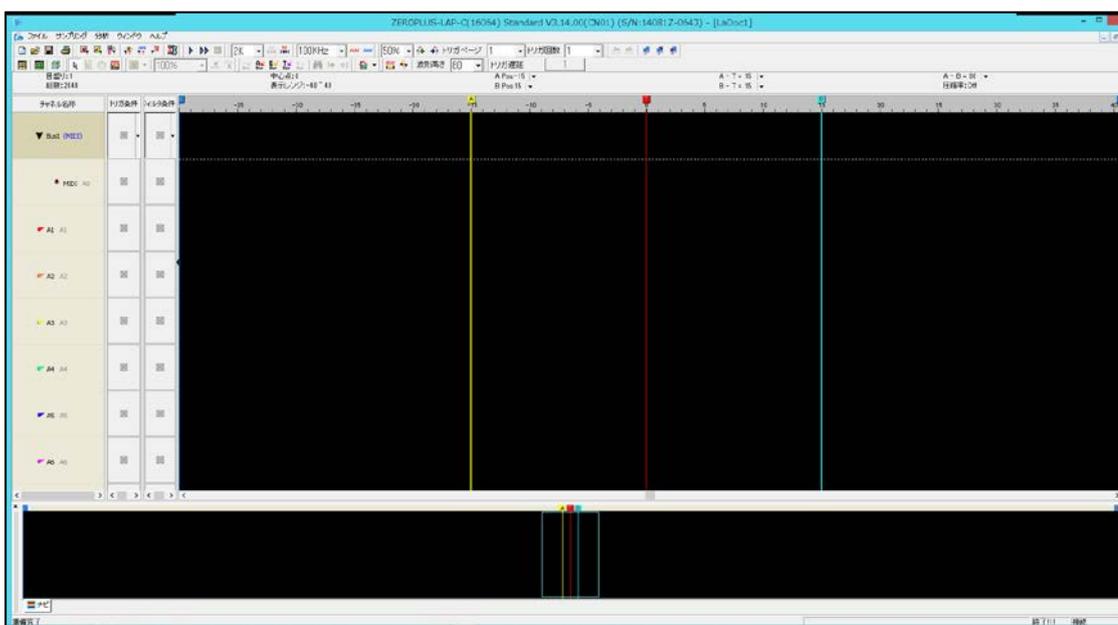
「データフォーマット」タブをクリックし、「アクティブ」にチェックを入れます。



「レジスタ」タブをクリックして、「Use MIDI free!」で無料使用可能を確認したら、下の「OK」をクリックして戻ります。

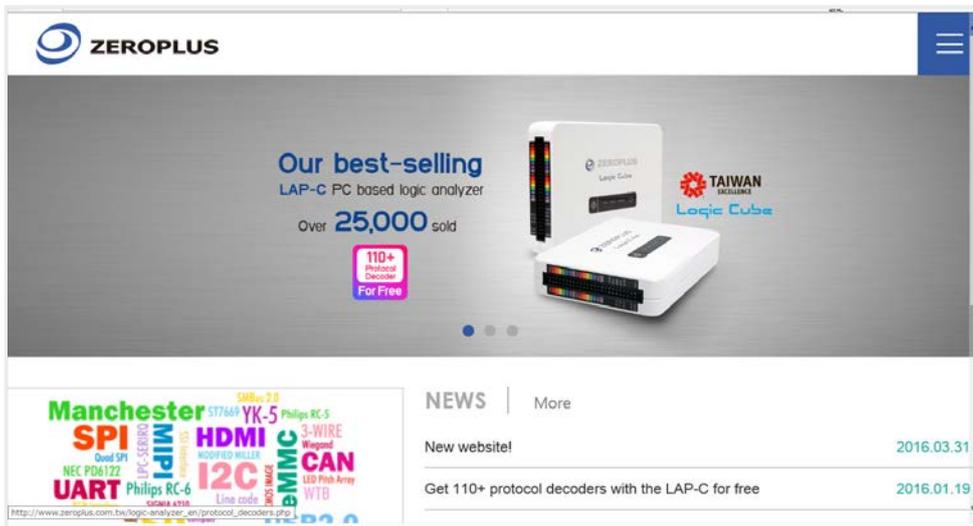


「確定」で測定画面に戻ります。

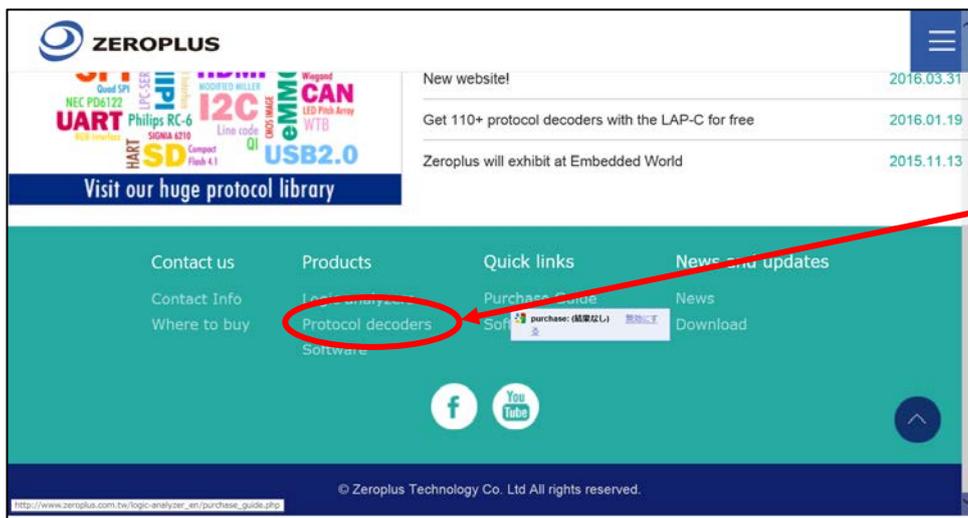


トリガ、フィルタなどその他の設定はzipファイルを解凍した時にできるマニュアルをご覧ください。

■プロトコル・デコーダ（プロトコル・アナライザ）の説明は下記からご覧ください■



ゼロプラス社ホームページのトップ画面です。



一番下までスクロールして、「プロトコル・デコーダ」をクリックします。

各プロトコル名をクリックすると、説明が現れます。

